

南アジア4カ国 マーケットレポート

【株価指数の推移】※…現地通貨ベース

		終値	10月27日比
インド	S&P・BSE500種指数	14,484.86	0.55%
スリランカ	スリランカ コロンボ 全株指数	6,552.59	-0.91%
パキスタン	カラチ 全株指数	29,476.42	0.45%
バングラデシュ	ダッカ総合株価指数	6,193.57	2.91%

(出所：ブルームバーグ)

【為替(対円)の推移】

		終値	10月27日比
インド	インドルピー	1.7422	-0.31%
スリランカ	スリランカルピー	0.7391	-0.16%
パキスタン	パキスタンルピー	1.0812	0.25%
バングラデシュ	バングラデシュタカ	1.3672	-0.55%

(出所：ブルームバーグ)

【インド：主要株価指数、最高値を更新】

インドの株式市場は、10月末から11月初にかけて上昇し、主要株価指数は軒並み最高値を更新しました。インド政府が10月24日に発表した公的資金を国営銀行に注入し資本増強する計画を受けて、国営銀行株が上げ幅を拡大しました。また、サウジアラビアが石油輸出国機構(OPEC)主導の協調減産合意の延長を支持したことによる原油高から、エネルギー関連株が上昇したことなども指数を押し上げました。その後は、原油価格が2015年半ば以来の水準に上昇したことから物価高懸念が高まるとともに、インド準備銀行(中央銀行)がインフレ抑制のために利下げを見送る公算が高いとの観測から軟調に推移し、ほぼ横ばいの展開となりました。

【スリランカ：金融政策決定と2018年予算案を嫌気】

コロンボ全株指数は、スリランカ中央銀行による金融政策の決定と2018年国家予算案の発表を嫌気し下落基調となりました。11月7日、中央銀行は、経済成長の持続とインフレ率の抑制のためには現行の金融政策が適切との認識を示し、金利を据え置きました。市場ではこれをインフレ率の上昇傾向と通貨安が政策運営を困難にしていると受け止めました。また、8日には2018年政府予算案が発表され、財政赤字対策として自動車や通信、銀行などに新税を課す税制改革案を盛り込みました。業績悪化や小売価格への転嫁観測から株式市場では弱材料視されました。

【パキスタン：MSCI指数見直し、市場参加者は様子見ムード】

カラチ全株指数は、MSCIエマージングマーケット(EM)指数のリバランスを前に限定的な動きとなりました。13日、MSCIはEM指数の半期見直しを発表する予定です。同国は2017年6月にEM指数に0.14%組入れられましたが、今回の半期見直しで0.10%へ変更される見通しとなっています。市場では、外国人投資家からの短期的な売りを懸念する一方で、既に足もとの下落局面で調整済みとの意見もあり様子見ムードとなっています。MSCIは見直し発表後、12月1日から新たな比率で指数算出を行なう予定です。

【バングラデシュ：FDI、過去最高を記録】

バングラデシュ銀行(中央銀行)は、2016-2017年度の海外からの直接投資(FDI)が、前年度比+22.5%の24.5億ドルと史上最高額を記録したと発表しました。産業別にみた場合、携帯電話事業会社からの投資急増を背景にテレコム部門が5.9億ドルとなり、繊維産業の3.6億ドルを上回りました。国別にみると、1位：シンガポール(7億ドル)、2位：英国(3.1億ドル)、3位：米国(2.1億ドル)でした。中銀関係者はインフラ整備が進み、政治的な安定感が増せば更なる拡大も見込めるとの見解を示しています。

当資料のお取り扱いにおける注意

当資料はアストマックス投信投資顧問株式会社が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当資料は、信頼できると判断した情報に基づいて作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。当資料中に記載している内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更することがあります。当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆しない保証するものではありません。

信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者の皆様に帰属します。投資信託の取得のお申込みに当たっては、販売会社から目論見書等をお渡しいたしますので、必ず内容をご確認のうえ、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。

投資信託は、預貯金や保険契約にはあたりませんので、預金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。

南アジア4カ国 マーケットレポート

【株価指数の値動き】〔期間：2016年6月1日～2017年11月10日、現地通貨ベース〕

(出所：ブルームバーグ)



—インド—

—スリランカ—



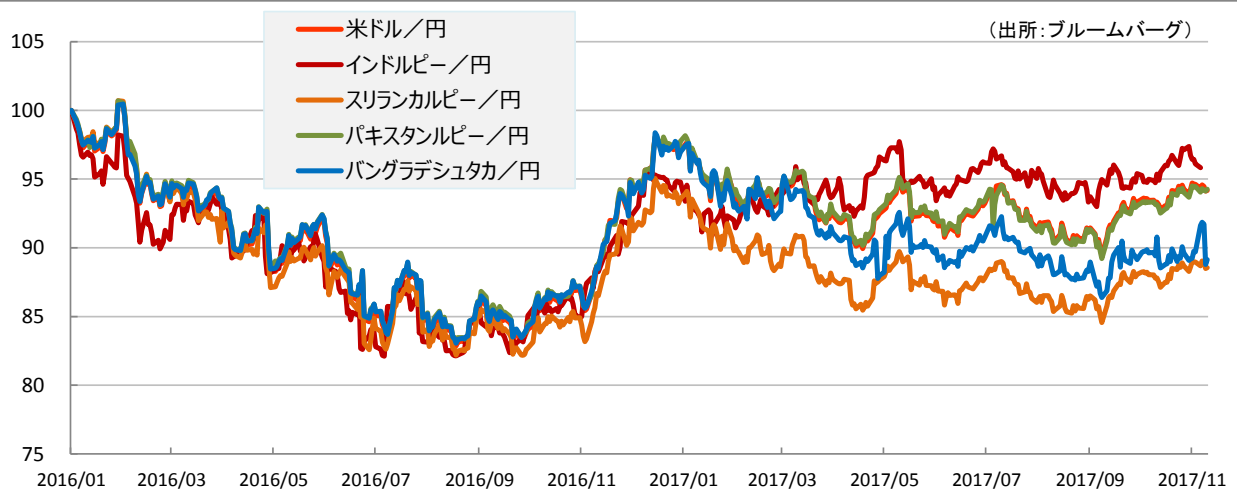
—パキスタン—

—バングラデシュ—

【為替の値動き】

〔期間：2016年1月1日(基準日)～2017年11月10日、基準日を100として指数化〕

(出所：ブルームバーグ)



当資料のお取り扱いにおける注意

当資料はアストマックス投信投資顧問株式会社が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当資料は、信頼できると判断した情報に基づいて作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。当資料中に記載している内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更することがあります。当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆しないし保証するものではありません。

信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者の皆様に帰属します。投資信託の取得のお申込みに当たっては、販売会社から目論見書等をお渡しいたしますので、必ず内容をご確認のうえ、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。

投資信託は、預貯金や保険契約にはあたりませんので、預金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。

南アジア4カ国 マーケットレポート

投資信託の主なリスク

投資信託は、主に国内外の株式や債券、その他の有価証券等を投資対象としますので、組入有価証券等の価格の下落や、組入有価証券等の発行会社の倒産や財務状況の悪化、為替の変動等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。したがって、ご投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託は預貯金とは異なります。運用の結果としてファンドに生じた利益および損失は、すべて受益者の皆様に帰属します。

投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、投資市場、投資対象国などが異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資にあたっては目論見書や契約締結前交付書面等をよくご覧ください。

お客様にご負担いただく主な費用

ご投資いただくお客様には以下の費用をご負担いただきます。

- 申込時に直接ご負担いただく費用……申込手数料 上限3.78% (税抜き3.50%)
- 換金時に直接ご負担いただく費用……信託財産留保額 上限0.5%
- 投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用……信託報酬 上限2.0412% (税抜き1.89%)
 - ※一部のファンドについては、運用成果等に応じて実績報酬をご負担頂く場合があります。
 - ※ファンド・オブ・ファンズの場合は、ファンドの投資対象とする投資信託証券の信託報酬等が別途かかります。
- その他費用……上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。
当該費用は運用状況等により変動しますので、事前に料率、上限額等を示すことができません。

上記に記載しているリスクや費用項目は一般的な投資信託を想定しています。

費用の料率につきましては当社が運用する公募の投資信託のうち最高の料率を記載しています。手数料の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することができません。投資信託に係るリスクや費用は、各投資信託により異なりますので、ご投資に当たっては、目論見書や契約締結前交付書面をよくご覧ください。



アストマックス投信投資顧問株式会社

〒141-0022 東京都品川区東五反田2-10-2 東五反田スクエア5階

商号等： アストマックス投信投資顧問株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第387号

商品投資顧問業者 農経(1)第21号

加入協会： 一般社団法人投資信託協会 / 一般社団法人日本投資顧問業協会

一般社団法人 第二種金融商品取引業協会 / 日本商品投資顧問業協会

当資料のお取り扱いにおける注意

当資料はアストマックス投信投資顧問株式会社が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当資料は、信頼できると判断した情報に基づいて作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。当資料中に記載している内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更することがあります。当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆しない保証するものではありません。

信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者の皆様に帰属します。投資信託の取得のお申込みにあたっては、販売会社から目論見書等をお渡しいたしますので、必ず内容をご確認のうえ、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。

投資信託は、預貯金や保険契約にはあたりませんので、預金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。